

自然と共存する、魅力あるまちづくり

広報

# さしま環境

さしま環境管理事務組合

2018

第1号

創刊

より豊かな環境へ

さしま環境管理事務組合の取り組み



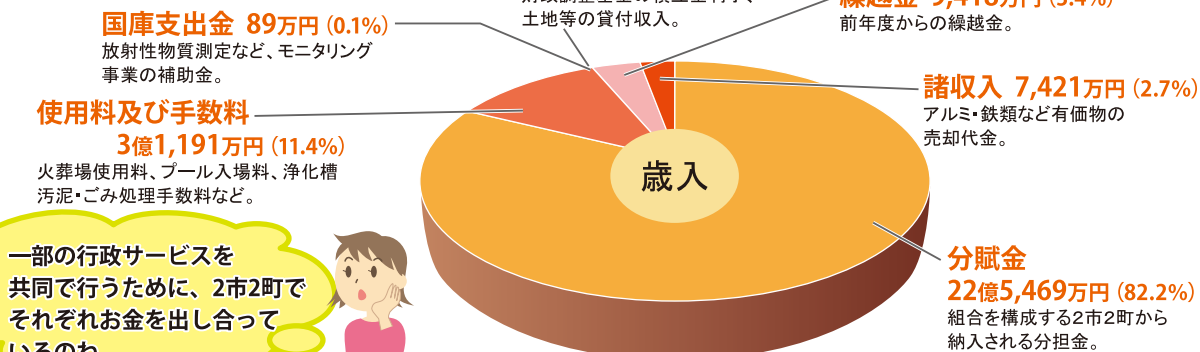
- 管理者あいさつ
- 平成28年度 決算報告
- 北茨城市と協定締結
- びんの資源化率大幅アップ
- さしま斎場待合室がリニューアル

contents



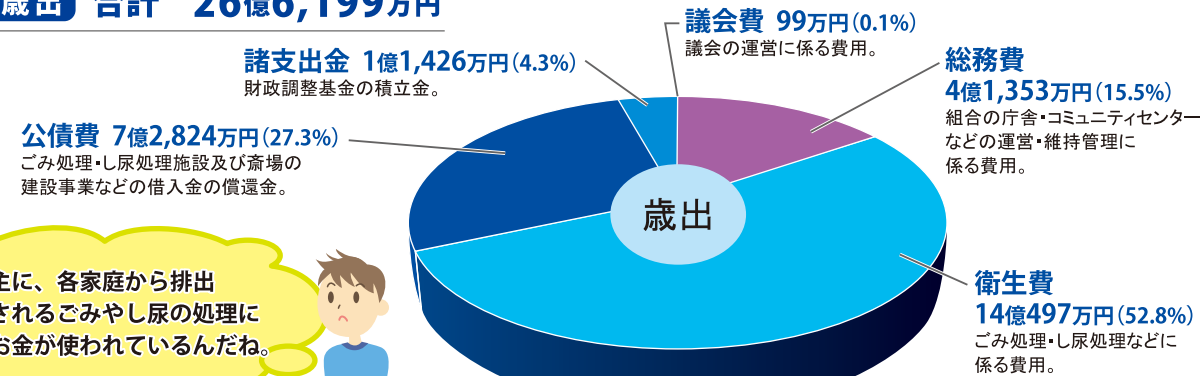
## 平成28年度 一般会計決算

**歳入 合計 27億4,063万円**



一部の行政サービスを共同で行うために、2市2町でそれぞれお金を出し合っているのね。

**歳出 合計 26億6,199万円**

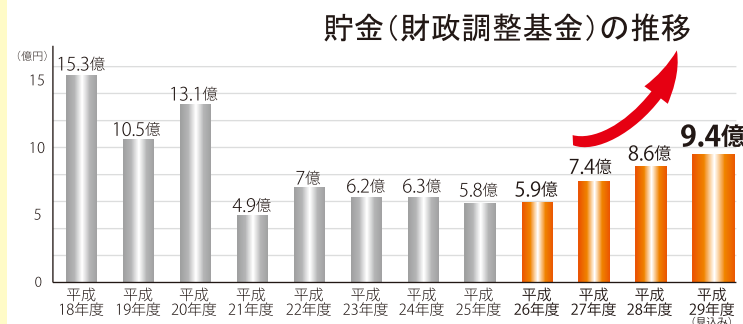


主に、各家庭から排出されるごみやし尿の処理にお金が使われているんだね。

### 貯金（財政調整基金）の推移

**貯金を増やしています**

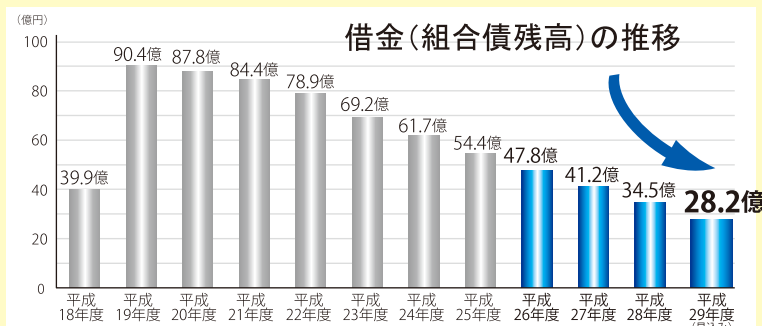
平成25年度⇒平成29年度  
**3億5,962万円増の見込み**



### 借金（組合債残高）の推移

**借金を減らしています**

平成25年度⇒平成29年度  
**26億1,480万円減の見込み**



# 設立55周年を迎えて 「時代と革新」

自然と共存する、魅力あるまちづくりを目指します。

平素より、さしま環境管理事務組合の運営にご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

はじめに、広報誌「さしま環境」の創刊につきまして、ごあいさつ申し上げます。

この度、当組合は設立55周年を迎え、地域の皆様には改めて組合の活動を知っていただき、より身近に感じていただきたいの思いから、広報誌「さしま環境」を創刊いたしました。広報誌を通じ、組合の最新情報や環境への取り組み、行事などをお伝えするとともに、皆様からいただいたご意見は、安心安全に暮らせる環境づくりに役立ててまいります。広報誌「さしま環境」が地域の皆様と当組合との交流の架け橋になることをお祈り申し上げます。

さて、さしま環境管理事務組合（旧：猿島郡衛生処理組合）は昭和38年に住民の生活環境の向上を目指して郡内町村から成る一部事務組合として設立されました。その後平成14年に新たに岩井市が構成市町に加わり、現在2市2町（境町・五霞町・坂東市・古河市）の構成により一般廃棄物の処理をはじめとした様々な業務に務めております。

近年、人口の増加や生活水準の向上に伴った日常生活に直結したごみ量の増大と質の複雑多様化の傾向にありながらも、21世紀は環境の世紀と言われ、ごみの減量、再利用が重要な課題となりました。

そのような観点から、平成20年稼働の「さしまクリーンセンター寺久」では、ごみ焼却の廃熱を利用して発電をし施設内の電気に役立てるほか、再生利用を推進するためのリサイクル自転車販売会も行っております。また、資源のリサイクルを題材としたリサイクル体験教室も実施しております。

平成27年9月に発生した、関東・東北豪雨災害は、国が激甚災害に指定するほど甚大な被害をもたらしました。こうしたなか当組合は、境町、坂東市、常総市の災害廃棄物を迅速にいち早く受け入れ、地域の方々の生活環境の保全、公衆衛生の悪化を防ぐ為、復旧・復興にむけての大きな役割をはたしました。

これからも、地域の皆様がさらに安心して快適に暮らしていただけるよう、構成市町と共に全職員が一丸となって運営に取り組んでまいりますので、地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



管理者 境町長 橋本 正裕



組合副議長 稲葉 貴大



組合議長 倉持 功



副管理者 古河市長 針谷 力



副管理者 坂東市長 木村 敏文



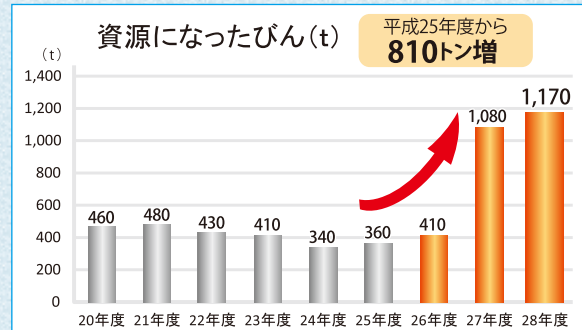
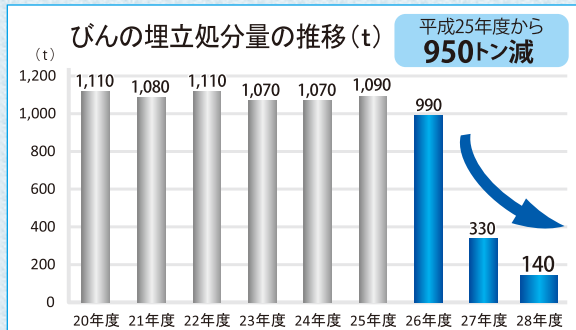
副管理者 五霞町長 梁谷 森雄



## ◇さまざまな努力をしています◇

### 割れて回収できなかったびんを大幅に資源化!

びんの埋立処分量を減らし、資源として回収する量を増やしています。

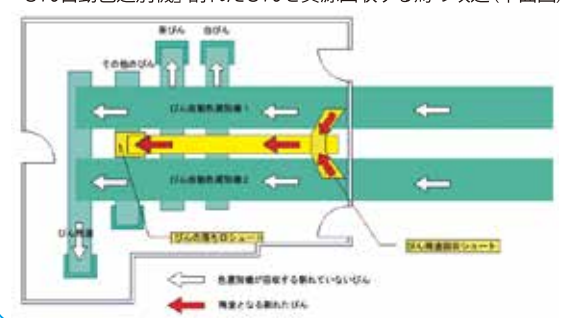


搬入されたびん類は、「びん自動色選別機」を通して白・茶・その他の3種類に分け、それぞれに資源となります。しかし、既に割れているびんは、資源にはならず、最終処分場で埋立処分をされていました。

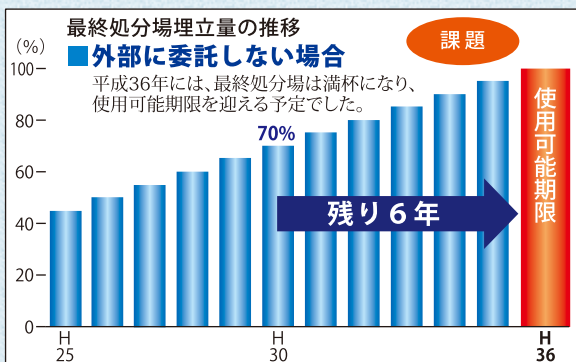
そこで資源リサイクル課では、割れたびんを何とかして資源として回収したいと考え、処理ライン増設工事を行いました。新しく設けたラインは、割れているびんを「その他の色」へ直接送ることができ、資源として回収することに成功しました。

その結果として平成27年度から、資源率が大幅に増え、びんの埋め立て処分量は減少しました。びんの資源率が増えたことは、最終処分場の延命化対策にもつながっています。

「びん自動色選別機」割れたびんを資源回収する為の改造(平面図)

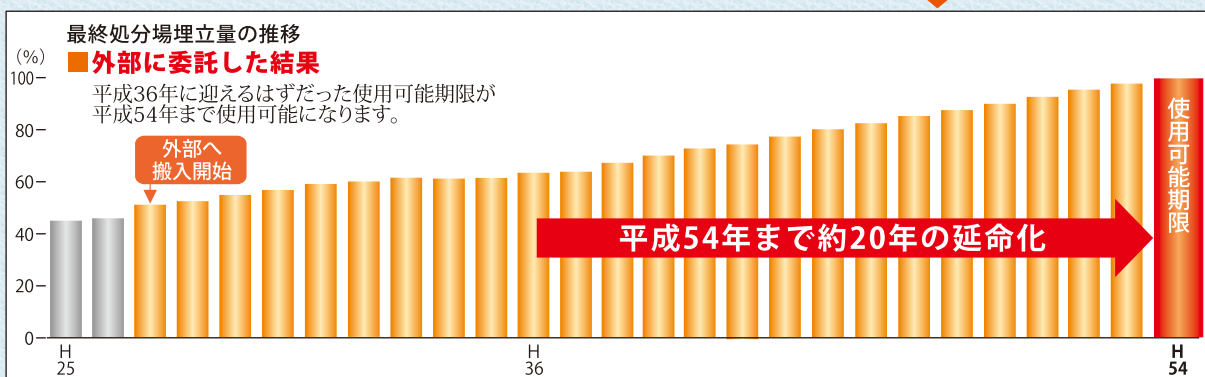


## 最終処分場延命化に向けた取り組み



平成27年12月から処理灰の約半分1,400トンを外部に搬入することで、**約50%の軽減!!**

解決策



## さしま環境管理事務組合 北茨城市と協定締結!



廃棄物と環境を考える協議会加盟団体  
災害時相互応援協定



平成28年10月、当組合は北茨城市と災害発生時にそれぞれが相互に応援協力して応急措置を迅速かつ円滑に行うことを目的とした「廃棄物と環境を考える協議会加盟団体災害時相互応援協定」を締結しました。

これにより、災害が発生した場合、加盟団体が相互に協力し被災団体への災害応援を行うことができます。

また、平成28年12月には、廃棄物の減量と資源化の促進、未来の地球環境の保全に寄与することを目的に設立された「廃棄物と環境を考える協議会」に入会しました。当組合としてもさらなる環境対策に取り組んでまいります。

北茨城市の協力のもと協定締結や協議会への入会が実現し、豊田 稔北茨城市長をはじめ関係各位にあらためて感謝を申し上げます。



# さしま健康交流センター

## 遊樂里

来館者 **100** 万人

**達 成**



平成22年3月14日のオープンから8年を迎えた「さしま健康交流センター遊樂里」は、来館者100万人を達成いたしました。これもひとえに多くの皆様のご協力とご支援の賜物だと感謝いたします。

これを記念し、平成29年9月1日（金）に「来館者100万人達成記念式典」を開催しました。記念すべき100万人目のお客様は、坂東市



からお越しの真中様。管理者より記念品とスタッフから花束が贈られました。真中様は、緊張しながらも笑顔で、「正直びっくりしました。これからも利用したい」とおっしゃっていました。

これからも多くの方にご利用いただけるよう、スタッフ一同努めてまいりますので、ご来館くださいますよう、お願い申し上げます。



橋本管理者から記念品を贈呈しました



橋本管理者より「地域の健康に欠かせない施設。年々利用者が伸びているので今後も活用してもらえれば」とあいさつがありました

# さしま斎場待合室 改修



旧

以前は段差がありました



新

段差を無くして出入りが楽になりました

参列者の声をかたちにし……



照明はLED!



明るく広い室内

## 参列者の声を実現

参列者から要望があった、さしま斎場待合室がバリアフリーになりました。

内装の改修や照明のLED化等が行われ綺麗に生まれ変わりました。高齢者の方、足の不自由な方でも安心して参列して頂けます。



# 「見て・聞いて」 さしまクリーンセンター寺久で ごみの行方を探検しよう!

これまでに、管内の小学4年生や、国内外の多数の団体が来場しています。  
見学内容は、施設紹介のDVD視聴後、職員の案内で見学ルートを巡り、家庭などから出された  
ごみが処理されていく仕組みや、ごみ減量について学んでいただけます。  
今年度も、すでに、33校(2月末現在)の小学生が見学に来場しました。

**◆見学後の感想**  
**坂東市立杏樹小**

田川 大とさん  
燃やすときの熱を電気にして、センターに利用したり、余ったら売っているのが勉強になったし、すごいと思いました。

レイナサラさん  
ごみクレーンはごみをつかんだり、落とすまでたりしていたのがおもしろかった。

染谷 碧衣さん  
ごみピットが5日ですごくいっぱいになってしまふことがおどろきました。家族に、今日勉強したことを教えようと思いました。

倉持 子寧さん  
ふとん用のシートなどを使ったものが、草履になっていました。シートでもこんなことができるんだな。

可燃ごみが一番多く集まってくるのを知れてよかった。

中村 りなさん  
クリーンセンターに集まるごみの量が多くてびっくりしました。1日、1ヶ月、どれだけ大変なのかわかりました。

高橋じゅんべいさん  
ごみの行方や、燃やすときの温度が分かりました。機械と人が協力して、ごみがリサイクルされていることがあったためによくわかった。



ごみ収集車の様子を見学



分別ゲームをして勉強しました

**長谷川先生**  
改めて分別をすることは大切だと感じ、地域の協力でも良くなることもわかった。「ごみは毎日出る」と言っても過言ではなく、私たちが切り離せないものである。ごみをごみのままではなく、リサイクルをしたり、減らすことが大切だということを知り、子供たちにも呼びかけていきたい。今日はありがとうございました。

**倉持先生**  
社会科の学習をするうえで、実物を見ることができて大変有効でした。子供たちも大変興味深く見学できたようです。ありがとうございます。

**坂東市立長須小**

相野谷 永和さん  
ごみのしよりやリサイクルのことが勉強になりました。ビンは色ごとにリサイクルされるのだと初めて知りました。

鈴木りおなさん  
ごみピットは、深さ10Mとは、想像以上にすごかったです。

森川智尋さん  
たくさんのごみをリサイクルしているんな物を作れることを知って驚きました。

風見りょう馬さん  
ペットボトルや空き缶は、運びやすいように四角にすることができるとすごいです。

野口かずたかさん  
ごみピットの中のごみの量がすごくてびっくりしました。

染谷ゆうとさん  
ごみから電気をおこすなんておどろきました。

内田りゆうせいさん  
みんなでごみを出すと、すごくてびっくりしました。ぼくは、なるべくごみを少なくしようと思いました。

相野谷 真さん  
ごみは、ただぐちゃぐちゃにしているだけではなく、ちゃんと分別しよりにしていることを初めて知りました。これからは、ごみをへらすために



べちゃんこになった缶やペットボトル「この形になって再生工場へ運ばれるんだね」



大会議室にてDVD視聴と質疑応答



手選別室



ごみクレーンとピット

エコバックを使いたいです。

# リサイクル自転車販売会と 小型家電回収イベント

in さしまクリーンセンター寺久  
リサイクルプラザ



さしまクリーンセンター寺久リサイクルプラザにおいて、平成29年度第1回リサイクル自転車販売会を8月1日(火)から8月6日(日)にわたり開催いたしました。台風5号迷走中の不安定な天候にも関わらず、リサイクル自転車100台に対し、513件の申込をしていただきました。8月9日(水)に抽選会を行いました。100名の方が当選いたしました。当日、観覧席にいらしていた総和地区に在住の平田様御夫妻(写真)は、見事当選し、「2回目で当選しました。今日は、来た甲斐がありました。」と大変喜んでいらっしゃいました。

同時開催した使用済小型家電イベント回収では、パソコンや携帯電話をはじめ扇風機など家庭で不要になった家電823.3キログラムを無料で回収しました。

また、平成30年1月29日(月)から2月4日(日)にわたり開催しました、平成29年度第2回リサイクル自転車販売会には、535件の申込をいただきました。2月7日(水)に抽選会を行い100名の方が当選いたしました。

たくさんのご来場ありがとうございました。





猿島コミュニティセンターでは、  
さまざまなイベントを開催しています。



是非、  
お立ち寄り  
下さい。

10月は **ハロウィン**

12月は **クリスマス**

### コミセン祭

さまざまなジャンルにわたる音楽の祭典。

**[お問合せ] 猿島コミュニティセンター 0280-87-7223**

<http://www.sashimakankyou.or.jp/content/shisetsu/c0001/>



### ●ごみの分別と収集・適正処理困難物等に関するお問合せ

- ・境 町 防災安全課 0280-81-1307 (直通)
- ・五霞町 生活安全課 0280-84-3618 (直通)
- ・坂東市 生活環境課 0297-21-2189 (直通)
- ・古河市 環 境 課 0280-76-1511 (代表)

### ●ごみの直接持込みにに関するお問合せ

- ・さしまクリーンセンター寺久 0297-20-9977 (代表)  
茨城県坂東市寺久1353番地1

### ●さしま斎場・火葬・清水丘聖地霊園に関するお問合せ

- ・さしま斎場 0280-87-0619 (直通)  
茨城県境町大字長井戸1746番地



さしまる君

